

全員協議会

平成28年3月8日(火)

管内の消防・救急活動の状況について

伊達市消防・防災センター3階 防災教育ホールにおいて、以上2点について西胆振消防組合幹部職員から説明がありました。

管内の消防・救急活動の状況については、伊達市、洞爺湖町、豊浦町、壮瞥町の平成27年1月1日から12月31日の「市町別火災発生状況」、「焼損面積及び損害額」、「救急・救助出動状況」、「医療機関別搬送件数」の説明があり、火災発生状況は31件で、対前年比で6件の減、救急出動は2,381件で、対前年比33件の減との報告がありました。

消防救急デジタル無線・高機能消防指令センターについて

消防救急デジタル無線・高機能消防指令センターについては、総事業費2.9億円の事業内訳や指令センターの指令要員として職員6名を専従化し、西胆振消防管内の全ての119番通報等を伊達消防署の通信室で一括受理、各署所へ出動指令するなど指令センターの特徴の説明がありました。また、同日、指令センターの119番回線等が接続し運用開始、平成28年3月28日までに旧施設等を撤去完了し本運用開始となるため指令センターの視察を行いました。

平成28年3月16日(水)

地方創生加速化事業について

地方創生加速化事業については、一億総活躍社会の実現に向けた緊急対応として、「新・三本の矢」に貢献することを目的に地方創生加速化交付金が創設され、国の平成27年度補正予算で1,000億円が計上されたことから、本交付金の採択を目指し、地方創生加速化交付金実施計画を作成し、平成28年2月に国へ提出済みです。

提出した実施計画は、①「洞爺湖有珠山ジオパーク資源を活用した観光地づくり事業」で伊達野菜ガイドブックの作成、国内販路開拓強化、新・農業人フェア参加など、「(仮称)伊達の農業パワーアップ推進協議会」を新たに設立し、農産物の知名度アップやブランド化を推進するため、情報発信や販路拡大等の事業に取り組む、②「西いぶり生涯活躍のまち構想推進事業」は、首都圏等のアクティブシニアの移住促進による人口減少の抑制や、充実した医療介護体制の維持による安心して住み続けられるまちの実現、医療介護分野などでの雇用の場の創出による、若者や女性の人口定住を推進するため「(仮称)西いぶり生涯活躍のまち構想推進会議」を設置し、実現に向けて取り組む、③「西いぶりクラウドファンディング販路拡大事業」は、中小企業振興や新規創業者の支援、新たな雇用の創出などを支援するため、資金調達の新手法である「クラウドファンディング(CF)」を推進し、西いぶり商品のファン拡大による新たな販路開拓等を目指すため、「(仮称)西いぶりCF推進協議会」を設立し、制度の普及に取り組む、などの説明がありました。

平成28年度分地方税制改正に伴う条例改正(専決処分)について

地方税制改正に伴う条例改正(専決処分)については、「伊達市税条例」、「伊達市都市計画税条例」、「伊達市国民健康保険税条例」を専決処分による改正を予定しており、伊達市税条例は、農地に係る固定資産税の見直し、地方創生応援税制の創設、軽自動車税に係る特例措置の延長であり、伊達市都市計画税条例は、地方税法の改正に伴う引用条項の改正、伊達市国民健康保険税条例は、国民健康保険税の賦課限度額を、法改正に伴う法定賦課限度額と同額に引き上げるなどの説明がありました。